

議案第 6 号 令和 6 年度小平市国民健康保険事業特別会計予算について生活者ネットワークとして賛成の討論をいたします。

2024 年度は被用者保険への移行や後期高齢者医療制度への移行などから被保険者数が前年に比較して 2000 人減の 35000 人を見込み、予算総額 178 億 12000 万円、前年に比べて 6 億 4800 万円の減で計上されました。

2023 年 12 月定例会では本予算編成の元となる小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例が可決されました。その際の生活者ネットワークの賛成討論でも申し上げたとおり、国民健康保険制度の構造上の問題点があることや国からの公費投入拡大が必要であるとの考えは変わりませんが、

2023 年 10 月 18 日に国が保険料水準統一加速化プランを策定したことや 2024 年 2 月には東京都国民健康保険運営方針が改定され、納付金ベースの統一に向けた工程表が示されたことから、国や都が保険料水準を平準化する期限が迫っており、保険者である自治体はこれまで以上に法定外繰り入れの解消を強く求められることとなります。

市民の収入が物価高に追いついていない状況なかでの税率改定は、生活に影響を及ぼすことは十分に承知していますが、今後 10 年ほどの間に都が示す標準税額との乖離分を解消するためには保険税を約 4 割増加させる必要があり、その期限が迫っている状況での大変難しい判断でした。

2024 年度小平市国民健康保険事業の予算審査において法定外繰入額が前年より増加したことや国民健康保険事業運営基金から 8700 万円を繰り入れ、残高が 59 万円となるなど厳しい国保財政のなか、保険料値上げを少しでも抑制し、市民生活への影響を減らす工夫をしていることがわかりまし

た。また、都が示す標準税額との乖離を、公費や軽減施策の拡充など、税率の値上げ幅以外のところでも対応していくと示されたことから生活者ネットワークとして賛成するものです。

今後は都が示す標準税額との乖離分を解消する年数を延長することを都と協議していくこと、国に対し、国民健康保険制度の構造上の問題を市民の側に押しつけるのではなく、制度改革、国からの公費投入の拡大を強く求めていくことを要望し賛成の討論といたします。